

# 東商けいきょう集計結果

(中小企業の景況感に関する調査)

平成21年4～6月期

## 【調査結果のポイント】

- 「業況DI」(全業種)は、依然として厳しい水準ながら、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれもマイナス幅が縮小した。(1、2ページ参照)
- 「売上DI」(全業種)は、前年同期比が▲61.0と前回調査に比べ-2.9ポイントとなり9期連続でマイナス幅が拡大したものの、今期水準は横ばい、来期見通しではマイナス幅が縮小した。(3、4ページ参照)
- 「採算DI」(全業種)は、今期水準が▲26.1と前回調査に比べ-5.2ポイントとなり6期連続でマイナス幅が拡大したものの、前年同期比、来期見通しではマイナス幅が縮小した。(5、6ページ参照)
- 「資金繰りDI」(全業種)は、前年同期比、今期水準は横ばい、来期見通しではマイナス幅が縮小した。(7、8ページ参照)
- 「民間金融機関の貸出姿勢DI」(全業種)は、前年同期比は2期連続マイナス幅が縮小、今期水準では横ばいとなった。(9、10ページ参照)

## 【調査要領】

- 調査期間：平成21年5月27日～6月2日
- 調査対象：東京23区内の中小企業2,362社
- 調査項目：業況、売上、採算(経常利益)、資金繰り、民間金融機関の貸出姿勢
- 調査方法：FAXおよび経営指導員による聴き取り
- 回答数：1,014社(回答率42.9%)

※有効回答企業の業種別構成

- |                  |                    |                  |
|------------------|--------------------|------------------|
| ・製造業 292社(28.8%) | ・建設業 127社(12.5%)   | ・小売業 144社(14.2%) |
| ・卸売業 153社(15.0%) | ・サービス業 298社(29.4%) |                  |

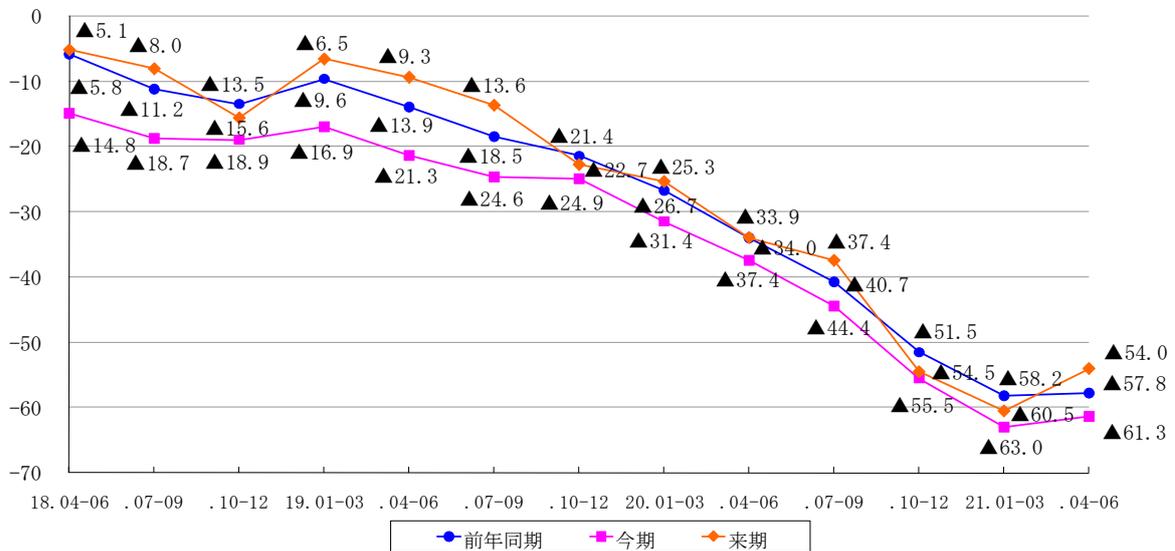
平成21年7月

東京商工会議所 中小企業部

# 1. 業況

○全業種の「業況DI」は、依然として厳しい水準ながら、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれもマイナス幅が縮小した。

業況DIの推移（全業種）



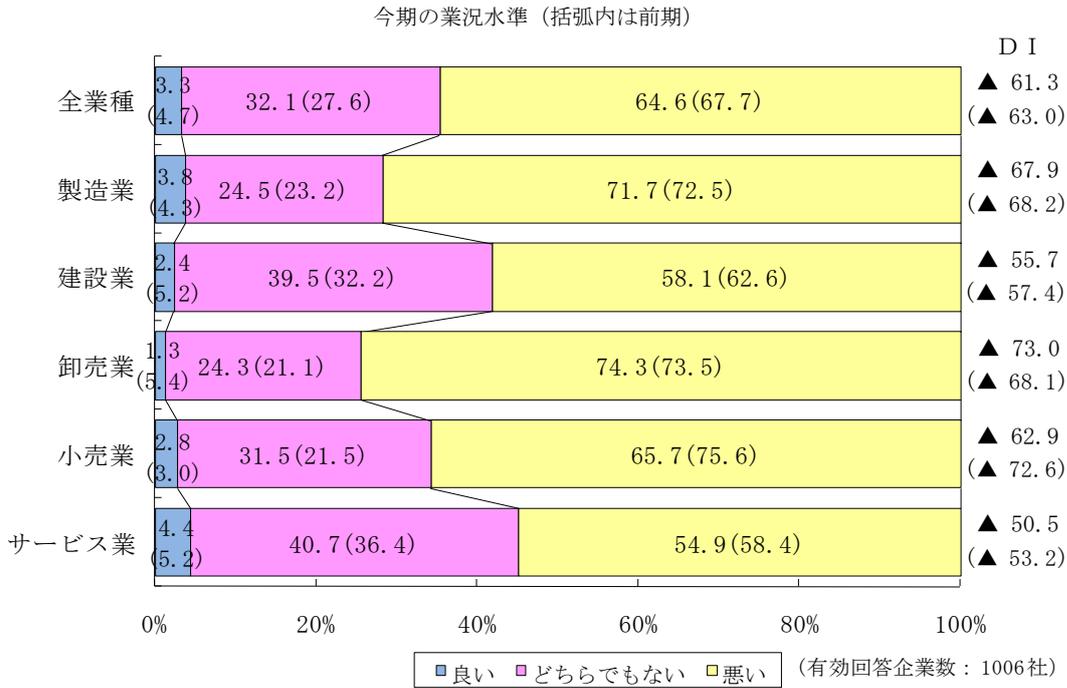
【質問1】前年同期（平成20年4～6月期）と比べた今期（平成21年4～6月期）の業況（自社）はどうですか。

前年同期と比べた今期の業況（括弧内は前期）



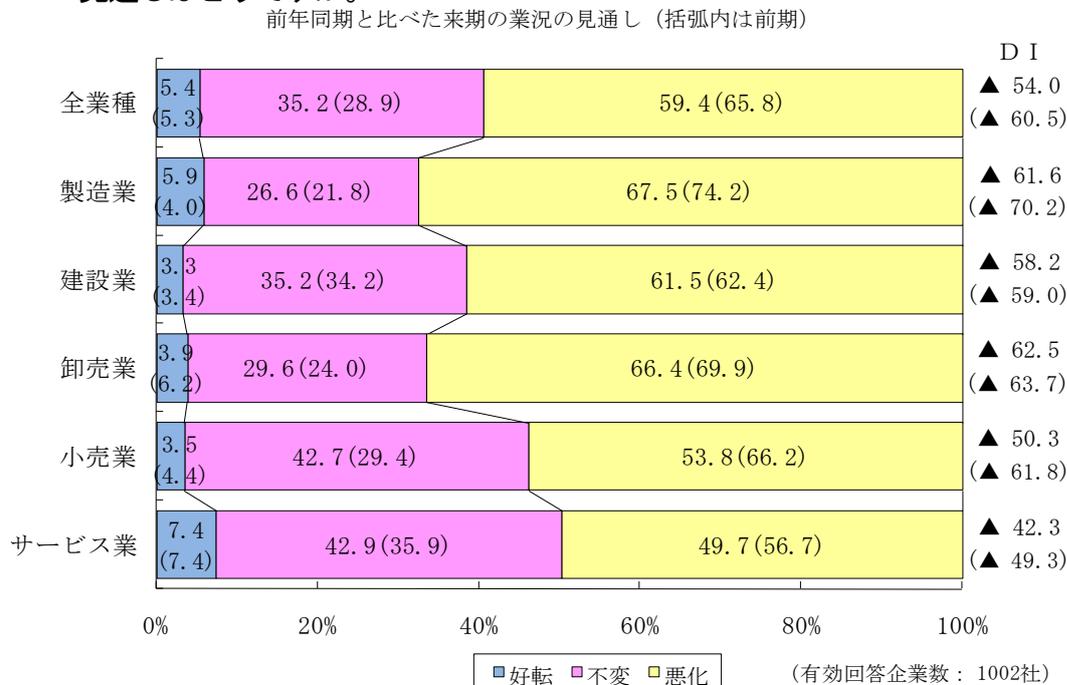
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の業況DI」は▲57.8と前回調査に比べ+0.4ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・小売業とサービス業でマイナス幅が縮小した一方、それ以外の業種ではマイナス幅が拡大した。特に建設業では▲51.5と前回調査に比べ-6.2ポイントとなり、マイナス幅が大幅に拡大した。

【質問2】 今期（平成21年4～6月）の業況（自社）水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の業況水準DI」は▲61.3と前回調査に比べ+1.7ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・卸売業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に小売業では▲62.9と前回調査に比べ+9.7ポイントとなり、マイナス幅が大幅に縮小した。

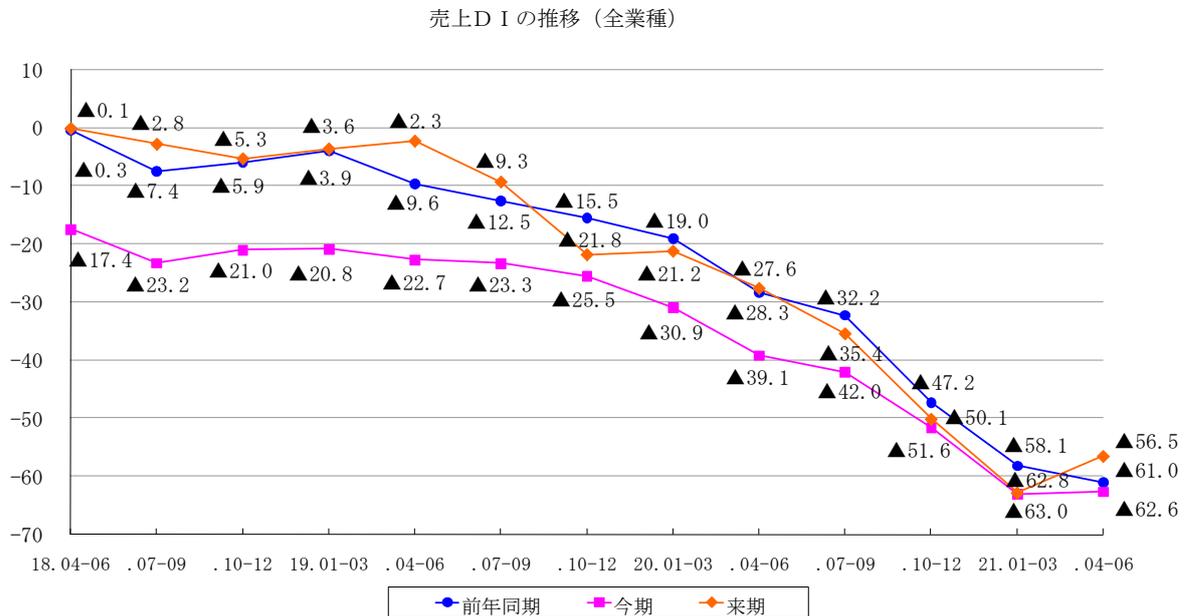
【質問3】 前年同期（平成20年7～9月期）と比べた来期（平成21年7～9月期）の業況（自社）の見通しはどうか。



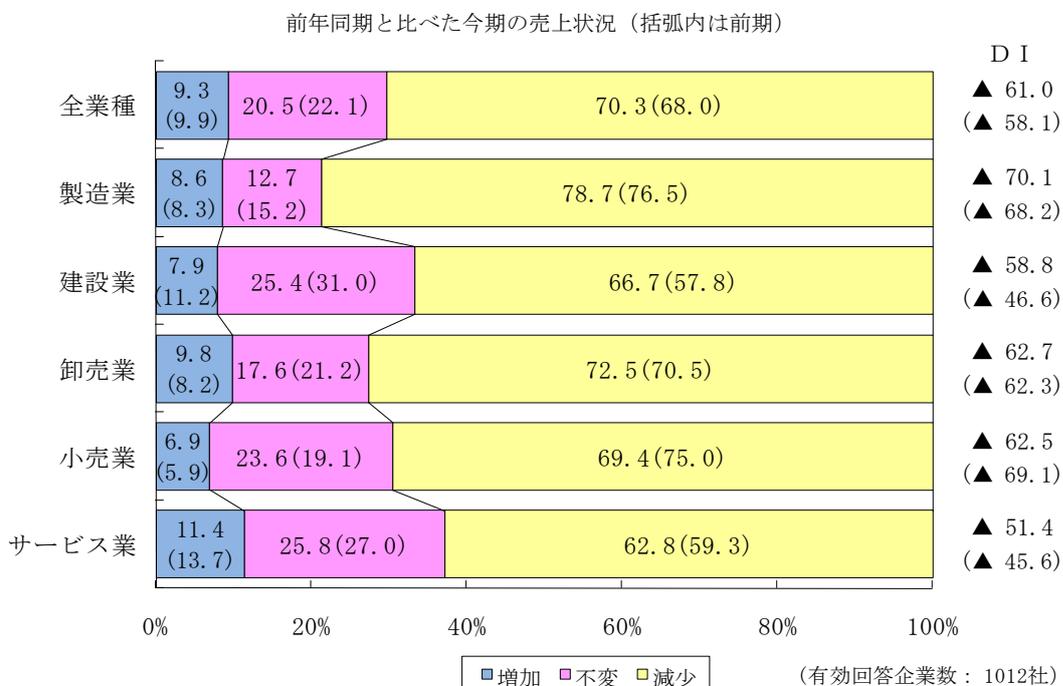
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の見通しDI」は▲54.0と前回調査に比べ+6.5ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に小売業では▲50.3と前回調査に比べ+11.5ポイントとなり、大幅にマイナス幅が縮小した。

## 2. 売上

○全業種の「売上DI」は、前年同期比が▲61.0と前回調査に比べ-2.9ポイントとなり、9期連続でマイナス幅が拡大したものの、今期水準は横ばい、来期見通しではマイナス幅が縮小した。

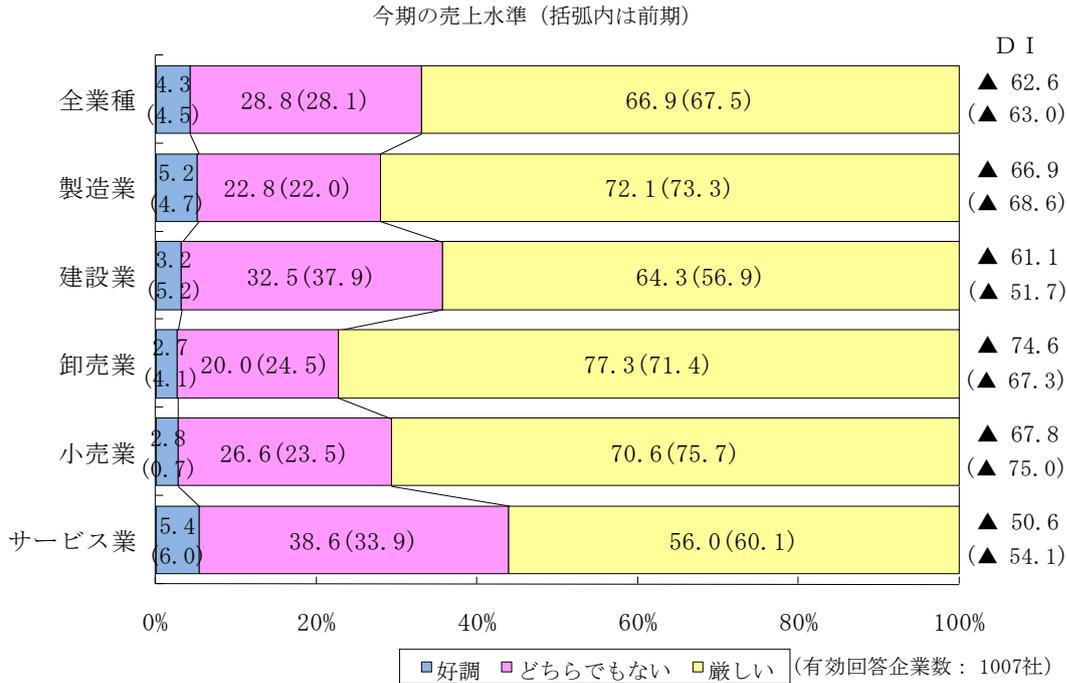


【質問4】前年同期（平成20年4～6月期）と比べた今期（平成21年4～6月期）の売上状況はどうか。



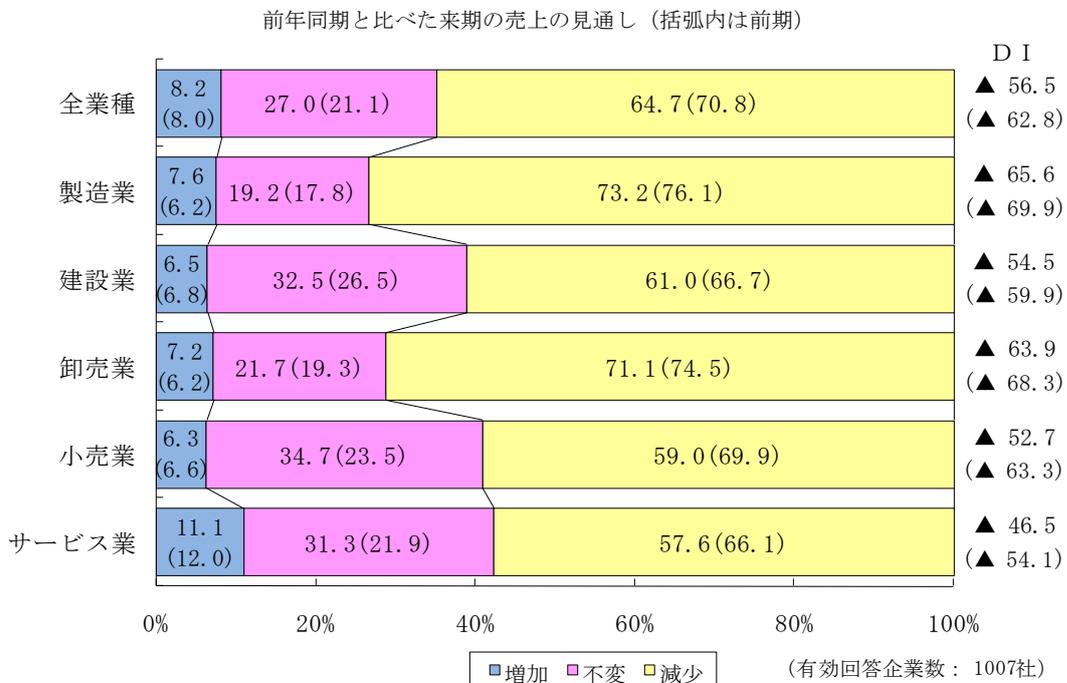
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の売上DI」は▲61.0と前回調査に比べ-2.9ポイントとなり、9期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・小売業を除く全ての業種でマイナス幅が拡大した。特に建設業では▲58.8と前回調査に比べ-12.2ポイントとなり、マイナス幅が大幅に拡大した。

【質問5】 今期（平成21年4～6月期）の売上水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の売上水準DI」は▲62.6と前回調査に比べ+0.4ポイントで横ばいとなった。
- ・製造業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した一方、建設業では▲61.1と前回調査に比べ-9.4ポイント、卸売業では▲74.6と前回調査に比べ-7.3ポイントと、マイナス幅が大幅に拡大した。

【質問6】 前年同期（平成20年7～9月期）と比べた来期（平成21年7～9月期）の売上の見通しはどうか。

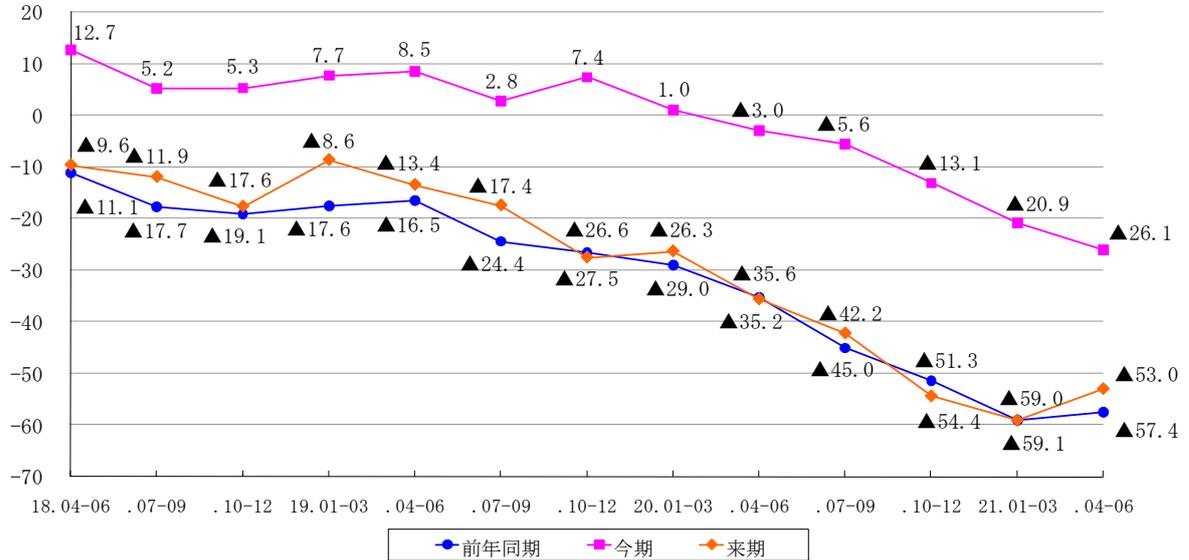


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の売上見通しDI」は▲56.5となり、前回調査に比べ+6.3ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に小売業では▲52.7となり、前回調査に比べ+10.6ポイントとなり、マイナス幅が大幅に縮小した。

### 3. 採算（経常利益）

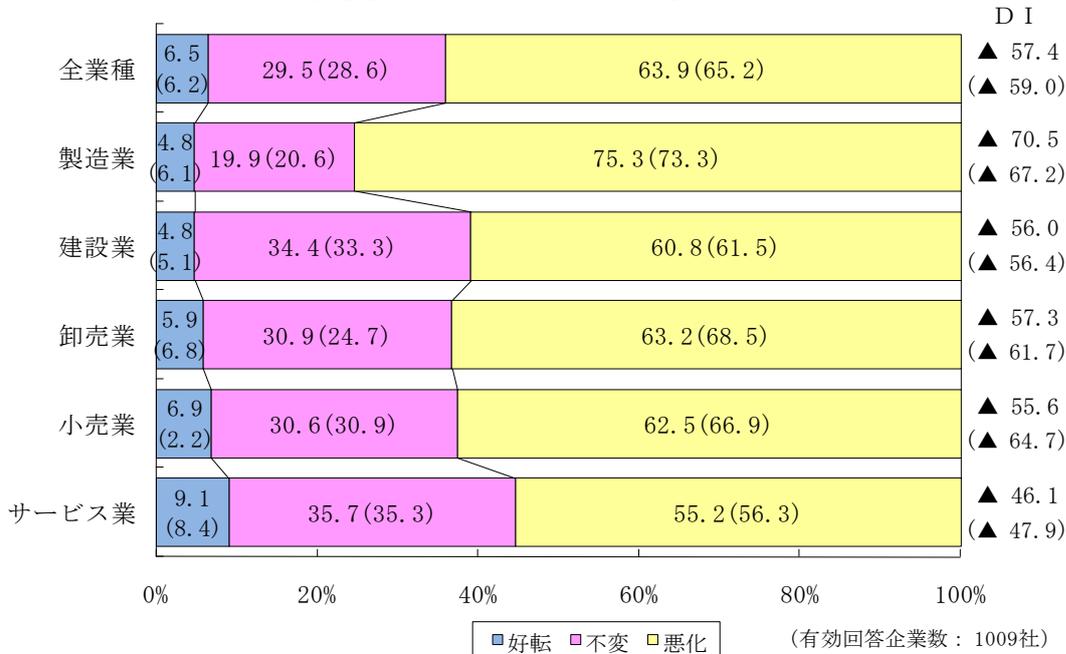
○全業種の「採算DI」は、今期水準が▲26.1と前回調査に比べ-5.2ポイントとなり、6期連続でマイナス幅が拡大したものの、前年同期比、来期見通しではマイナス幅が縮小した。

採算DIの推移（全業種）



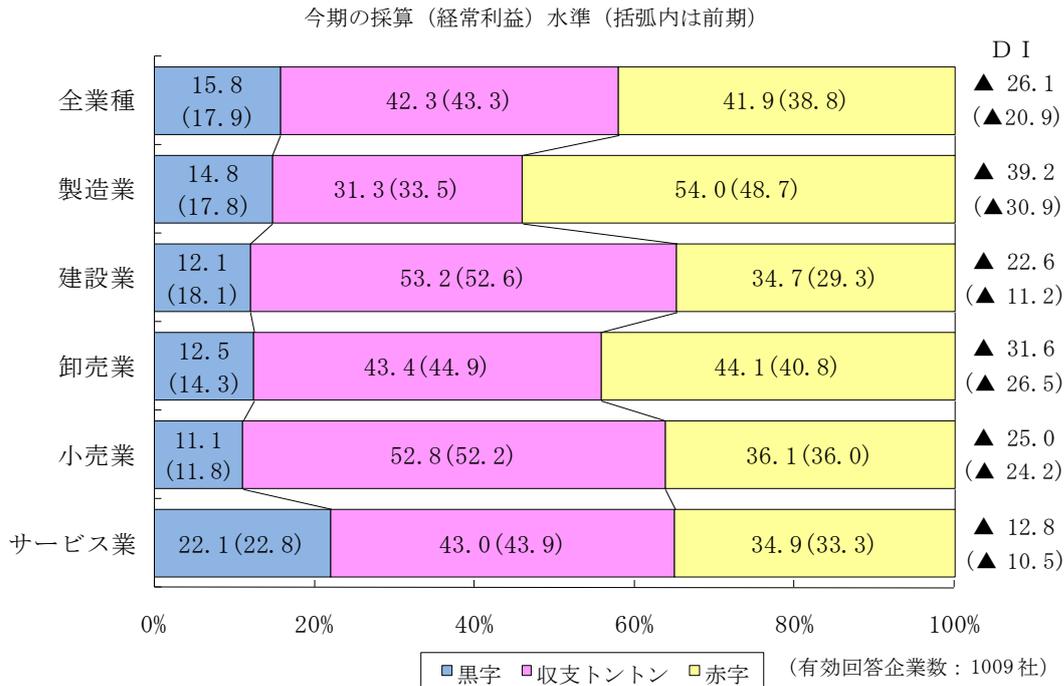
【質問7】前年同期（平成20年4～6月期）と比べた今期（平成21年4～6月期）の採算（経常利益）状況はどうか。

前年同期と比べた今期の採算（経常利益）状況（括弧内は前期）



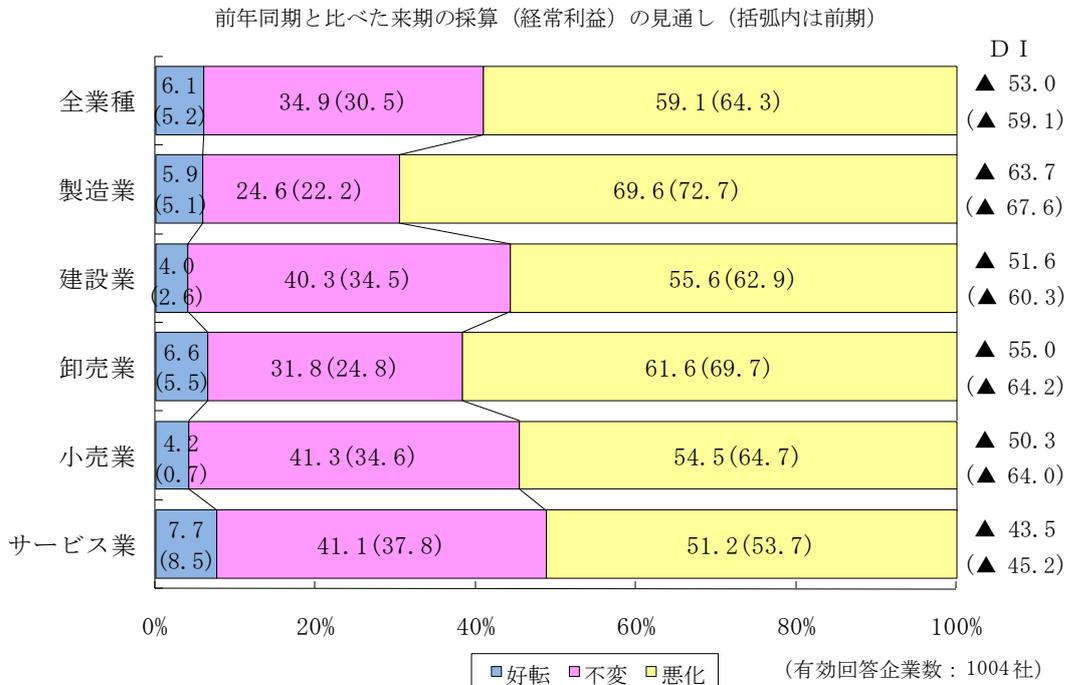
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の採算DI」は▲57.4と前回調査に比べ+1.6ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・製造業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に小売業では▲55.6と前回調査に比べ+9.1ポイントとなり、マイナス幅が大幅に縮小した。

【質問8】 今期（平成21年4～6月）の採算（経常利益）水準はどうか。



- ・全業種の「今期の採算水準DI」は▲26.1と前回調査に比べー5.2ポイントとなり、6期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・小売業のみほぼ横ばいとなり、その他の業種でマイナス幅が拡大した。特に製造業では▲39.2と前回調査に比べー8.3ポイント、建設業では▲22.6と前回調査に比べー11.4ポイントと、マイナス幅が大幅に拡大した。

【質問9】 前年同期（平成20年7～9月期）と比べた来期（平成21年7～9月期）の採算（経常利益）の見通しはどうか。

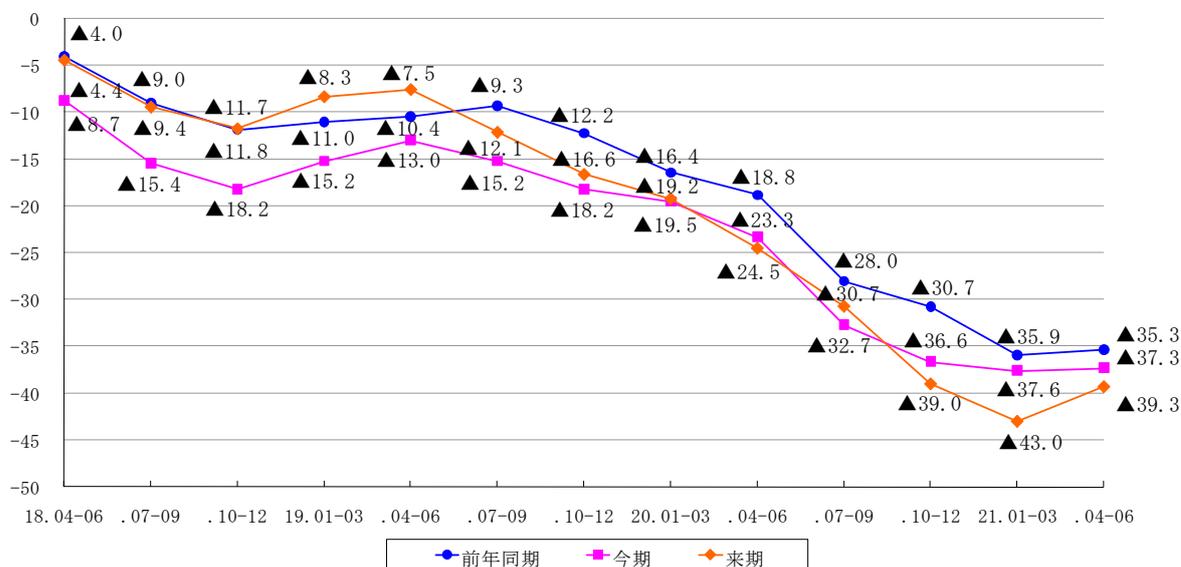


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の採算見通しDI」は▲53.0と前回調査に比べ+6.1ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に小売業では▲50.3と前回調査に比べ+13.7ポイントとなり、マイナス幅が大幅に縮小した。

## 4. 資金繰り

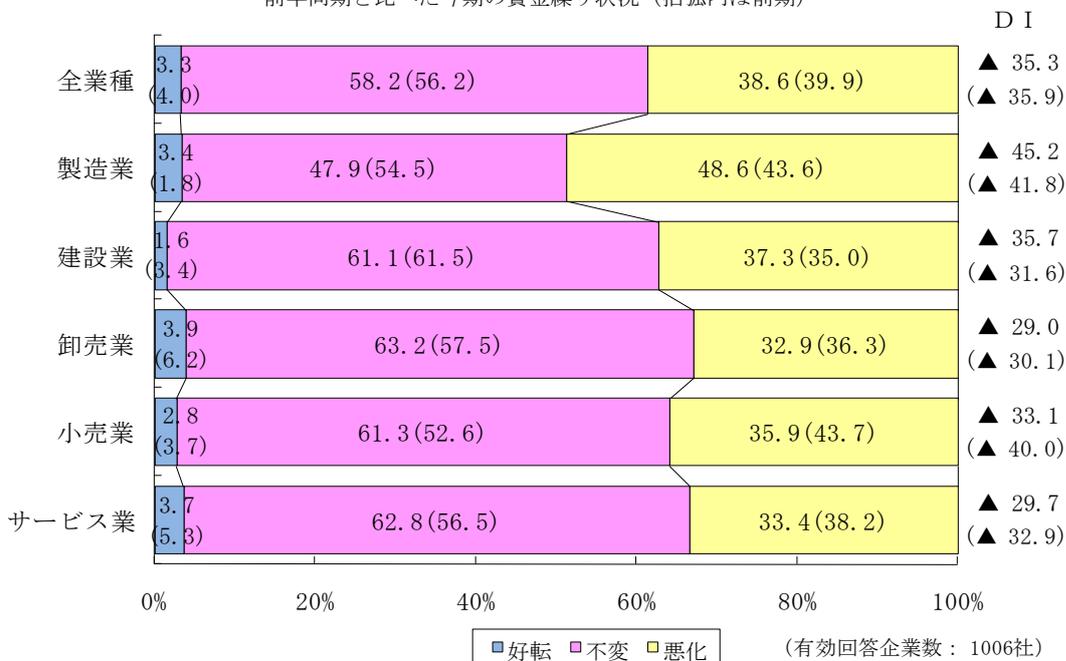
○全業種の「資金繰りDI」は、前年同期比、今期水準は横ばい、来期見通しではマイナス幅が縮小した。

資金繰りDIの推移（全業種）



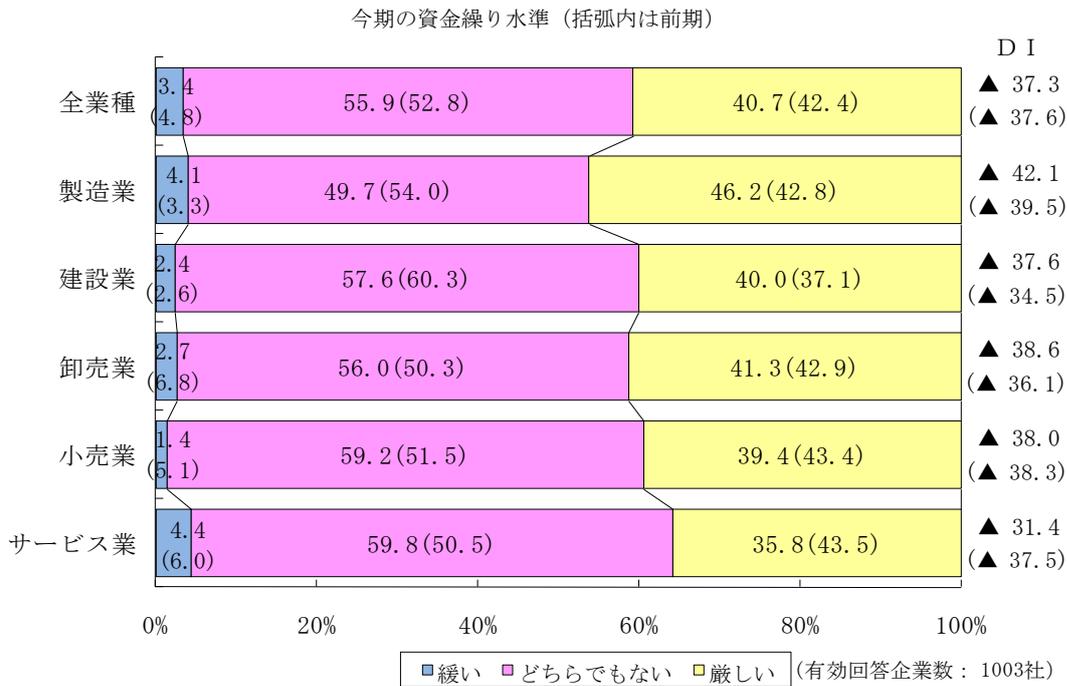
【質問10】前年同期（平成20年4～6月期）と比べた今期（平成21年4～6月期）の資金繰り状況はどうか。

前年同期と比べた今期の資金繰り状況（括弧内は前期）



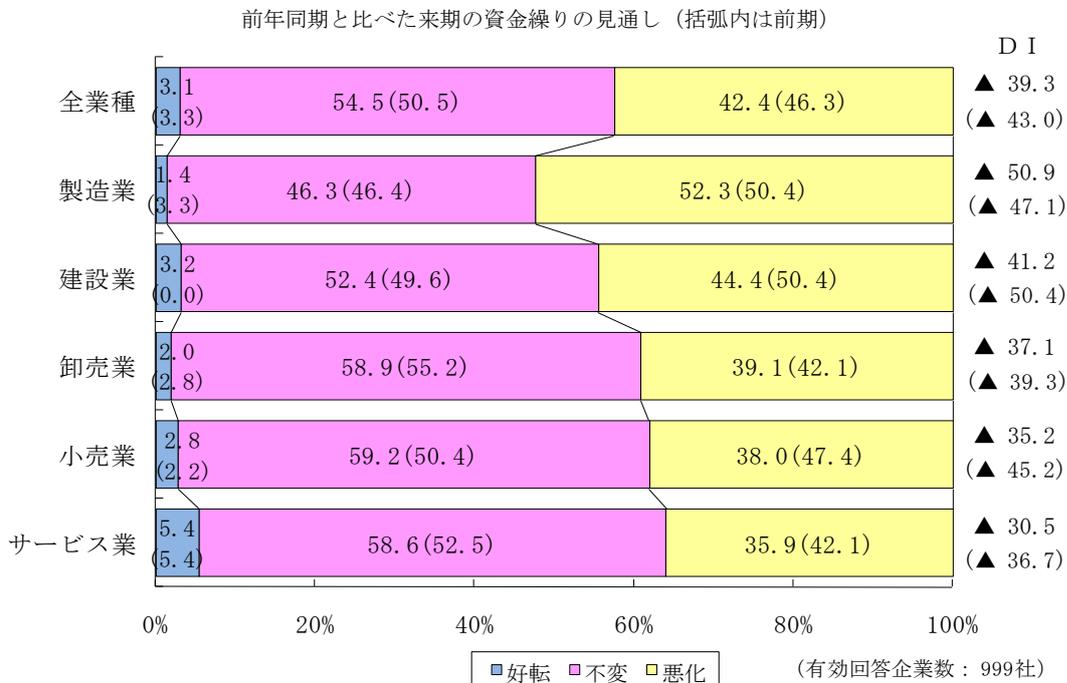
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の資金繰り水準DI」は▲35.3と前回調査に比べ+0.6ポイントと、横ばいとなった。
- ・卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した一方、製造業では▲45.2と前回調査に比べ-3.4ポイント、建設業では▲35.7と前回調査に比べ-4.1ポイントとマイナス幅が拡大した。

【質問 1 1】 今期（平成 21 年 4～6 月期）の資金繰り水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の資金繰り水準DI」は▲37.3 と前回調査に比べ+0.3 ポイントと横ばいとなった。
- ・製造業、建設業、卸売業でマイナス幅が拡大する一方、サービス業では▲31.4 と前回調査に比べ+6.1 ポイントと、マイナス幅が縮小した。

【質問 1 2】 前年同期（平成 20 年 7～9 月期）と比べた来期（平成 21 年 7～9 月期）の資金繰りの見通しはどうか。

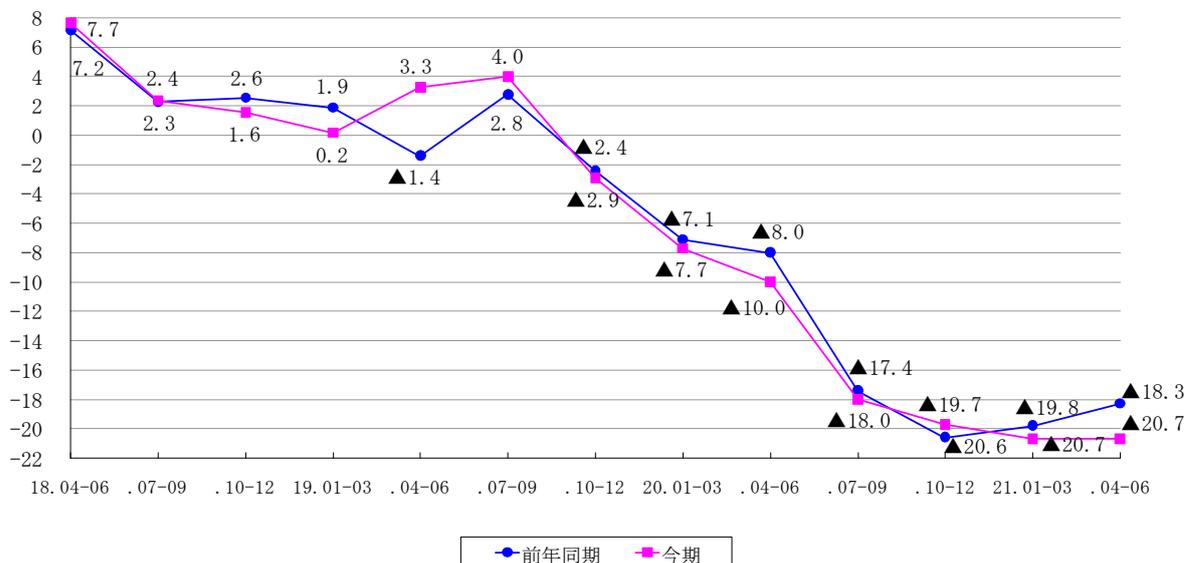


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の資金繰り見通しDI」は▲39.3 と前回調査に比べ+3.7 ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・製造業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に小売業では▲35.2 と前回調査に比べ+10.0 ポイント、建設業では▲41.2 と前回調査に比べ+9.2 ポイントと、マイナス幅が大幅に縮小した。

## 5. 民間金融機関の貸出姿勢

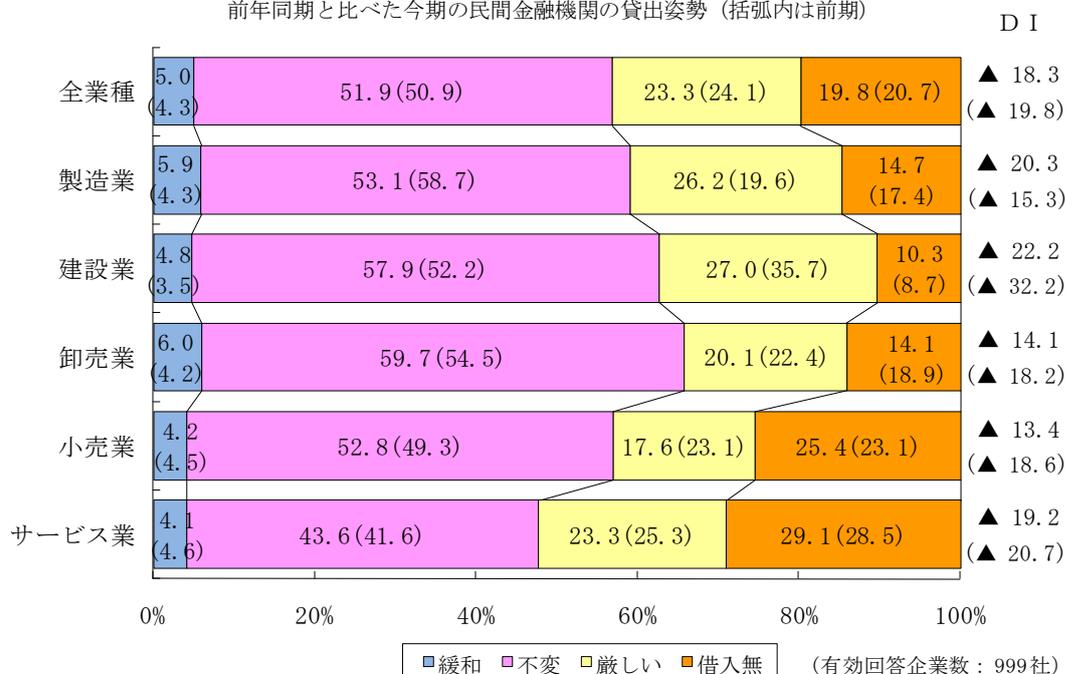
○全業種の「民間金融機関の貸出姿勢DI」は、前年同期比は2期連続マイナス幅が縮小、今期水準では横ばいとなった。

貸出姿勢DIの推移（全業種）



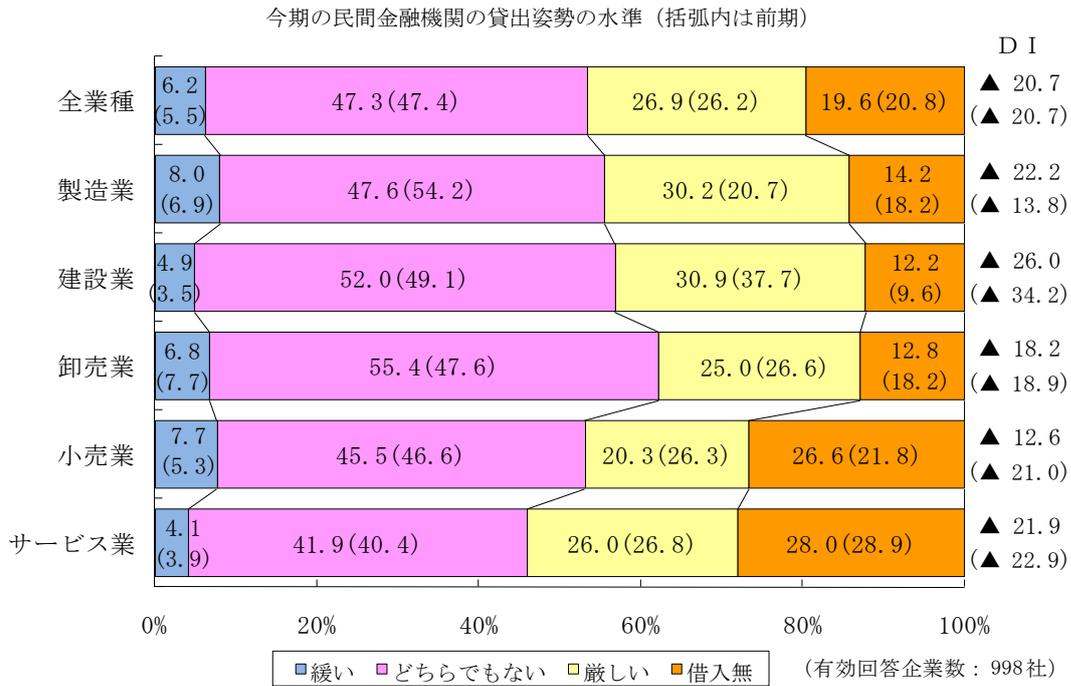
【質問13】前年同期（平成20年4～6月期）と比べて、今期（平成21年4～6月期）の民間金融機関の貸出姿勢は、変化がありましたか。

前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢（括弧内は前期）



- ・全業種の「前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢DI」は▲18.3と前回調査に比べ+1.5ポイントとなり、2期連続でマイナス幅が縮小した。
- ・製造業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。製造業では▲20.3と前回調査に比べ-5.0ポイントとなり、厳しさが増した。

【質問 1 4】今期（平成 21 年 4～6 月期）の民間金融機関の貸出姿勢の水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の民間金融機関の貸出姿勢DI」は前回調査と同じ▲20.7と横ばいとなり、6期連続したマイナス幅拡大に歯止めが掛かった。
- ・製造業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。製造業では▲22.2と前回調査に比べ8.4ポイントとなり、厳しさが増した。

- ※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩和」「緩い」とする企業の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「不調」「赤字」「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値を表す。
- ※ 本集計結果における前期とは、平成21年1月～3月期調査を表す。
- ※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない。
- ※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。